

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20 年 3 月 25 日
事業所名	グループホーム 清里
ユニット名	3F
事業所番号	2370400869
記入者名	職名 管理者 氏名 早川 朋子
連絡先電話番号	052-503-6131

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>理念は「アットホームな介護」です。</p> <p>散歩や買い物、喫茶店に行ったりすることで、地域の人々と触れ合う機会を設けている。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>更に一人一人がしっかりと理解し行動できるように、ミーティングなどで確認していく。(現在月1回のミーティングを行っている。)</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>パンフレットの作成 2～3ヶ月に1回の運営推進会議にて、地域への理解を求めている。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>外出の際は出来るだけ、近隣の方々への挨拶をするように心掛けている。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>自治会のお祭り、運動会等に参加し、子供会、保育園との交流会を設けている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>			<p>運営推進会議の場で、自治会の方へ地域の高齢者の方の様子をお聞きするが、なかなか役立つところまではいかない。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価にて、良い事はより良くなるよう努力し、改善すべき点はスタッフ共々見つめ直し、質の高い介護を目指している。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議ではホームの様子をお話したり、ホーム内を見てご意見を頂き、必要な事は職員に報告されており、サービスの向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者、支援センター等に運営推進会議への参加を呼びかけたが、人が少なくて無理であると断られた。</p>		<p>市町村、支援センターの方に現場を知っていただき、参加してもらいたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要な方には、ご家族にお話をし支援をしている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関しては、常に利用者様の身体状態に気を配り、注意を払っている。</p>		<p>虐待の防止に関係する講習、講演等にはなるべく参加するようにしている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前には必ずホーム内を見学していただき、また、ご本人の面接も行っている。契約書も説明をしながら記入していただいている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご本人、ご家族、管理者（ホーム側）と一緒に話をする機会を設け、利用者様の意見に耳を傾けるよう努力している。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月に1回、利用料を持って来られる際に、日頃の様子をご報告し、変化が見られた時はその都度連絡している。また、3ヶ月に一度くらい、ご家族へ健康状態など手紙で報告している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム玄関に意見箱を設置したり、ご家族ともコミュニケーションをなるべく取り、話しやすい環境作りをしている。</p>	<p>ご家族が来所された時は管理者だけでなく、スタッフもご家族とお話させていただき、お話を聞けるように努力している。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回ミーティングを行い、利用者様の事だけでなく、業務に対する意見交換もしている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>8時間勤務だけでなく、短い時間の勤務も設け、利用者様の生活リズムに合わせたスタッフの勤務調整をしている。</p>	<p>十分な職員数が確保されているため、柔軟な対応はされていると思う。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフは基本的にフロアを固定し、利用者様と信頼関係を築き、メンタル面での配慮に心掛けている。		基本的にスタッフは固定であるが、他の階へ遊びに行き、話しが出来る機会を設けている。
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフが研修へ行く機会を作り、勤務内で参加している。		レクリエーション、介護予防など、興味のある勉強会に参加したい。
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同区内のホームスタッフが月に一度集まり、テーマを決め勉強会を開いている。 近くのホームに利用者様と一緒に訪問し、催しに参加している。		なるべく多くのスタッフが参加できるように声掛けをしたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	忘年会、新年会などでスタッフ間の交流を持っている。 いつでも話を聞く信頼関係と環境作りをしている。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎日夕方、運営者や総合管理者にその日の報告をし、ホームの状況を伝えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所すぐにセンター方式を行い、1ヶ月经過後にできることできないことシートをスタッフ全員が記入し、利用者様と関わる時間を設けている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>契約時も含め、ホームを見学していただき、パンフレットもお渡しし質問に答えている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>グループホーム以外にも利用できる施設の話を見せて頂いている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>お試しの入居もある事をお話し、心配なご家族には安心していただけるように勧めている。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一人一人の意見を尊重し、一人の人生の先輩として色々な事を学ばせていただいている。食事、おやつと一緒に食べ、同じものを見て一緒に過ごす。</p>	<p>物を作ったり話をしたり、一緒に出来る事を多く見つけ行っている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホーム側としては、常に手紙、電話、直接お会いしてなど、お互い密になる関係を築いている。		施設側に任せきりのご家族が多いため、もっとご家族に施設に足を運んで頂けるよう努力したい。 (お花見などには、ご家族にも連絡する。)
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	双方よりお話を聞き、その中での援助に心掛けている。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人が自由に面会できるようになっていて、馴染みの物(湯呑み、箸、衣服など)も大切にしている。		
31 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士のトラブル、口論について見守り、必要があれば間に入る。また、そのトラブル、口論の原因となるものを見直し、軽減できるように支援している。		この部分は、現在もかなり努力している。利用者様に出来るだけスタッフが話しかけるようにしている。
32 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今までの経過としては、契約が終了するとなかなかその関係は保っていないのが現状である。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>スタッフ一人一人がセンター方式を行い、利用者様と向き合う時間を設けている。</p> <p>月1回のミーティングにてスタッフ同士意見交換をし、利用者様本位のサービスを提供している。</p>	<p>フロアノートを用意し、利用者様の細かな情報を記入できるようにしている。そこには、利用者様の希望、意向などが記入されている。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時、ご家族に家族版のセンター方式を記入していただき、入所までの暮らしが解るようにしている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>常に体調の急変に気付けるよう、日々のバイタルチェックをスタッフ全員が把握している。</p> <p>ご本人にもお話を聞き、確認をしている。</p>	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月に一度のミーティングにて情報を交換し、利用者様がより良く快適に生活できるような介護計画を作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>適宜見直しは行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン作成（6ヶ月に1回）</li> <li>・モニタリング（3ヶ月に1回）</li> <li>・センター方式を用いたアセスメント（6ヶ月に1回）</li> <li>・サービス担当者会議（6ヶ月に1回）</li> <li>・各利用者様の事を話し合うミーティング（1ヶ月に1回）</li> </ul>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の介護記録を記入。 個人記録の他に情報共有ノートを使用している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ケアプラン作成時、必ずご家族に相談しご意見を頂いている。</p>		<p>個々の希望に出来るだけ副えるよう、そして対応ができるよう努めたい。</p>
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>約月に一度のペースで、ホームに慰問ボランティアが来ている。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>利用者様の選択肢を広げる為、マッサージ、病院、美容院など利用者様本位のサービスを提供する。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターと協力していないのが現状である。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様（ご家族）希望の医師（病院）の支援を行っている。（必要時、送迎、付き添いをする。）		眼科、皮膚科、精神科などご家族、本人の希望する医師の診察が受けられるよう支援していきたい。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族の方で利用者様と一緒に認知症の専門医に受診、相談されている場合が多い。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常にホームの看護職員に相談し、連携をとっている。日々の介護支援の中で解らない事、不安な事など相談している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した場合、ホーム側（管理者）が常にご家族、病院関係者と情報交換、相談などで連絡をとっている。現状を把握するため、病院へも出向いている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、ターミナルケアについて本人、ご家族と相談し、終末期ケアの契約書に希望を記入していただいている。		終末期を迎え、病院、ホーム、自宅どこを希望されるのかをしっかりと確認し、出来る限り意向に沿いたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化、終末期の利用者様が「何が出来るか？出来ないか？」を見極めると共に、「今後どうしていきたい？」も一緒に考え、ミーティングにてスタッフ一同、同じ思い、方向性で支援している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者様一人一人のプライド、プライバシーを守る為、声掛け対応には注意している。 記録等の個人情報の取り扱いに注意している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者様が日々の生活の中で意思決定ができるよう、声掛けを行い、利用者様自信が決め、納得して暮らせるよう支援している。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様一人一人に合った生活を支援している。 ( 外食や食事の時間、場所など。 )</p>	<p>スタッフの人数を増員し、なるべく一人一人の希望に沿えるようにしている。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人の希望で、毎日の化粧、服の決定、髪型(髪の色)を決めている。 理容、美容は月に1回、移動美容室が来ているが、希望があれば外部の美容室も可能である。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様一人一人の好みを把握すると共に、食事時の雰囲気作りに努めている。 お盆拭きなど、利用者様自ら役割を決めている。		
55 本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒を希望される男性利用者様がみえるが、体調のことがあり飲めないため、別の好みの牛乳などで満足していただいている。		
56 気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表などで利用者様の排泄パターンをチェックし、トイレ誘導を行っている。		
57 入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴日には、入浴の順番など工夫したり、入浴剤など使用して楽しく入っていただけるように支援している。		朝風呂が好きな利用者様や夜入りたい利用者様に合わせて、入浴ができるように取組んでいきたい。
58 安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様一人一人の生活のリズムを大切に、朝など無理に起こさず安心してゆっくり眠れるよう努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で得意な事を役割として支援している。(おしぼり巻き、洗濯物干し、食器洗いなど。)		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様に合わせて週に1回お小遣いの日を決め、個人で管理していただいている。 お小遣い帳をつけ支援をしている。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に合わせて買い物、散歩を行っている。		スタッフの人数を確保しているため、個別ケアができるようになっている。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に一度、遠足など遠方へ出かけている。 外食なども、近くのショッピングセンターへ買い物を兼ね出かけている。		デパートなどへ行ってみたいと思っている。
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様から訴えがあった場合、電話、手紙など必要な支援をしている。		利用者様のご自宅に電話をする事に関して、あまり良く思われないご家族がいるため、ホーム側よりご家族様とお話をし理解していただけるよう支援をしていきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の時には、スタッフ全員きちんと挨拶をする事となっている。 自室にてゆっくりとお茶を飲み過ごしていただいている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様本人に、今必要な介助を見極め、身体拘束をしない介助をスタッフ全員で常に考えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、玄関には鍵をかけず、出入りが自由になっている。利用者様が出易いようドアなどには暖簾などをかけ、自然な形で目隠しをしている。		
67 利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	間違えなどで他の利用者様の部屋へ入っていかうとされる利用者様には、担当スタッフを決め、見守る体制を整えている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物など、ご本人が管理するのに危険な場合は、ホーム側でお預かりし、スタッフ付き添いの元使用していただいている。 ご本人が管理できる場合は、何が幾つあるか確認してある。		
69 事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	歩行時の見守り介助を行っている。 誤薬に関しては「月日様」と声に出し、確認後服用していただく。チェック表も用意している。		
70 急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変、事故時に備え、緊急連携の表を掲示している。		応急手当や初期対応の仕方を、全ての職員が出来るよう徹底していきたい。
71 災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難用具は設置されているが、職員のみ使用してみた。地域の消防団の方には、運営推進会議にてお願いしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	主治医も含め、利用者様に起こり得るリスクに関しては事前に説明をさせていただいている。		事前にご家族にお話しする事により。ご家族はきちんと理解、納得をされる為、起きた時でも問題になることは少ない。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックをし、朝、夕の申し送りにて異変の場合は報告するようにしている。		
74	服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護記録に薬の用法がわかる用紙を付けてあり、いつでもスタッフが確認できるようになっている。		
75	便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	夜勤者により朝の申し送り時、水分不足の利用者様の報告がある。 1日1回散歩に出かけ、身体を動かすようにしている。		利用者様の好みのより、バナナや牛乳の飲用、中にはキムチで便が出る利用者様もいらっしゃる。
76	口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後（寝る前）には必ず口腔ケアを行っている。 歯科医の往診により汚れをとっていただいている。		毎食後の口腔ケアに取り組んでいきたい。 利用者様に口腔ケアの大切さを知っていただけるよう取り組みたい。
77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取、水分摂取量を毎日（毎食）個人記録に記入し、一人一人の状態を把握し、必要な支援をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、うがいを心がけ、洗面所にはポスターとして掲示している。		感染症に対する予防、対応のマニュアルを作成していきたい。
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器類、包丁、まな板などキッチン用具は毎日消毒し、週に1回曜日を決め、漂白している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には行事等で撮った写真等を貼っており、お正月、クリスマス等には飾り付けを行っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の掃除にて清潔を心がけ、季節ごとの行事にあわせ、スタッフや利用者様が手伝い等で飾り付けを行っている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム廊下の奥やフロアにソファを設け、利用者様同士がゆっくりできる居場所作りをしている。		気の合った利用者様同士、お互いの居室にてゆっくりお話をされている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居時ご家族にお話をし、使い慣れた物の持ち込 みをお願いしている。		
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	外気の温度とあまり差がないよう注意し、毎朝の 掃除では必ず窓を開け空気の入替えをしてい る。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	フロア、廊下、トイレ等には手すりをつけてい る。 洗面所なども低くし、残存能力を活かした生活が 送れるようにしている。		
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	個別ケアを中心とし、一人一人の能力を把握し、 援助を行っている。		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	建物の外には畑があり、季節に応じて野菜を育 て、一緒に草取りも行っている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

スタッフの増員により、個別ケアに重点を置いている。  
家庭的雰囲気のグループホームとして力を入れている。